

# MECT 2025

メカトロテック ジャパン 2025

MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN

トライエンジニアリング株式会社

場所

ポートメッセなごや 第2展示館 **2D05**

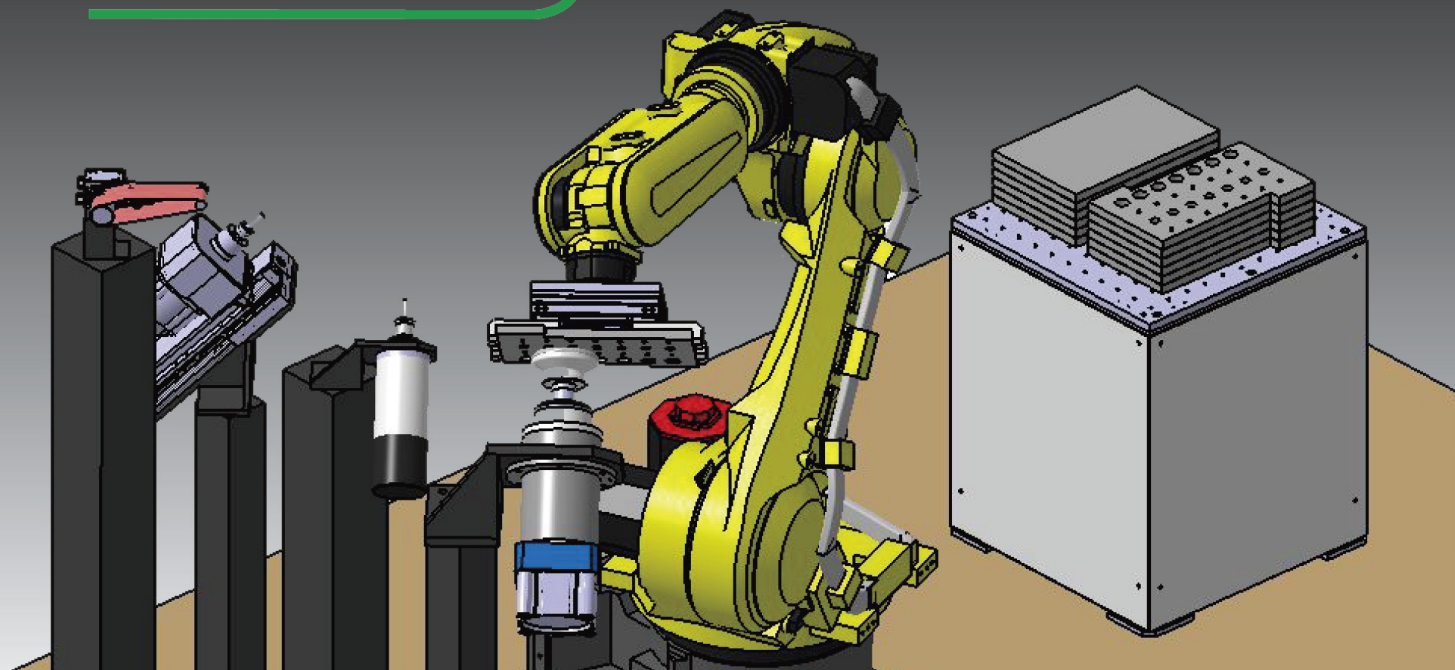
会期

10月22日(水)～ 10月25日(土) 10:00～17:00  
(最終日25日(土)は16:00まで)



(株)イワタツール  
(株)田野井製作所  
※3社で1つのブースになっています。

# Robot Multi Processing

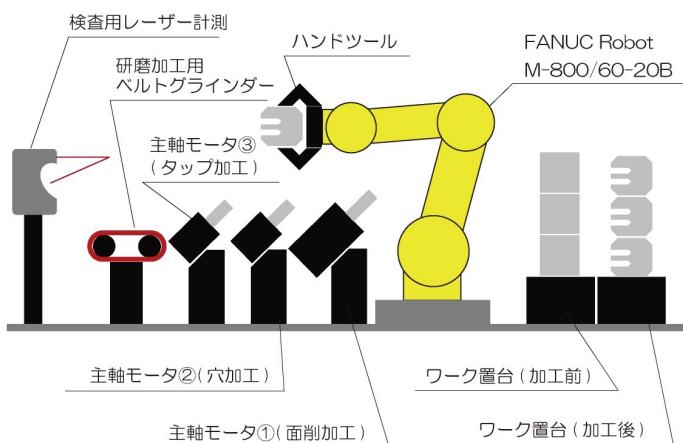


Robot Machining System × Robot Polishing System PAT. × Robot Multi Processing

◀◀ ワークハンド&固定加工アプリによる、小物加工にも最適な新しいロボット加工の提案 ▶▶

## ワークハンド仕様ロボット加工

従来のロボット先端に加工用主軸等のアプリケーションを取付けるのではなく、様々な加工アプリケーションを固定設置。ロボットハンドリングによるワーク移動による加工を実現。ローディング～面削加工～穴加工～タップ加工～研磨加工（面取加工）～検査～アンローディング迄、ノンストップでの加工が可能となります。



## 小物ワークの加工に多くのメリット

- 切削加工から研磨仕上、検査迄一つの工程で自動加工が可能。
- ワークのローディング&アンローディングも自動。
- 固定アプリケーションの追加で自由な加工工程追加が可能。
- カメラ、検査機器等の追加で加工後の検査対応も可能。

## ◀◀ 高品質なロボット加工を実現する技術 ▶▶

### 高剛性・高精度ロボット

加工時に受ける外力抵抗に対し、アーム強度向上及び、関節たわみ補正機能を備えたロボット。



### 低抵抗切削工具【ドリルミル・ラフィングタイプ】

切削抵抗が低くなるよう、新発想の底刃形状を開発。薄板穴加工にも最適。



### 最適条件による高品質タップ加工【SL-TF】

ロボット加工には一般的なセミドライ技術を用いて高品質タップ加工を実現。タップ選定から加工条件、クーラント噴射位置など多岐ノウハウの集結によりロボットでも高品質なタップ加工を実現。

ロボット加工技術研究会 (Robot Machining Technology Symposium) は産業用ロボットによる切削加工等の用途及び市場の拡大を志し、参画各社の製品および技術を寄せ集め加工業界の更なる発展を目指します。2024年7月発足、現在8社加盟。



株式会社イワタツール



ジェービーエムエンジニアリング株式会社



株式会社田野井製作所



トライエンジニアリング株式会社



ファナック株式会社



フジBC 技研株式会社



株式会社安川電機



レニショー株式会社